

東林山 法雲寺

〒667-1311兵庫県美方郡村岡町村岡2365
TEL：0796-98-1151 FAX：0796-98-1168



法雲寺報

<http://www2.nkansai.ne.jp/org/houunji> Eメール：houunji@io.ocn.ne.jp

東大寺大仏開眼1250年慶讃「千僧法要」を執行。

去る10月19日奈良東大寺にて「仏法興隆誓願・千僧法要」が行われました。

この法要は、本年が東大寺の大仏様（毘盧遮那佛）が開眼されて1250年の嘉年に当たることから、10月15日より19日まで午前・午後の二座ずつ各宗派の出仕によりまず慶讃法要や、夜の記念コンサートなどが賑やかに行われました。19日はその一連の慶讃法要の最終日で、結願の法要となります。

ご存知のように東大寺の大仏様は天平年間（752）聖武天皇の勅願によって建立された仏様です。天皇はこの大仏建立に天皇自らの仏教帰依の願いだけでなく、仏教伝来200年を記念して立てられたと言う意味も有るように言われています。また、大仏建立には「仏教国日本の象徴」と「鎮護国家」（国の安定と平安）と「衆生救済」（生けるもの全ての救済）の願いも重要な柱となっています。その大仏様が誕生されて今年で1250歳となるわけです。

千僧法要と言うのは正に読んで字の如く、千人のお坊さんが参加しての法要と言うこととなりますが、実際問題として一つの宗派だけで千人のお坊さんを集めてくることは不可能に近い物があります。私が所属しております全日本仏教青年会は会員数12,000名（計算上）の人数だけは充分にいる団体ですので、以前からの縁もあり参加者の協力要請が回ってきたわけですが、残念ながら参加者は千人に届かず、700名余りとなりました。

10月15日から始まった慶讃法要は、18日までは好天に恵まれていたのですが、千僧法要当日の19日は朝から小雨交じりの天気となりました。

計画では、南大門前に700名の参加者が行列を整え



東大寺の大仏

整列し、法螺貝・雅楽を先頭にして大仏殿前まで道中散華を行いながらユツタリと行列を行い、大仏殿前参道両脇に控えた参拝者の前で華麗で、荘厳な法要を行おうと準備してきたわけですが・・・雨では屋外で法要を行うことも叶いません。急遽、法要会場を大仏殿内部に変更しての実施となりました。

小雨交じりの天候でしたが、参集所の南大門から大仏殿までの300メートルの間は予定通り行列を行い、出仕の700名は宗派ごとに4列の整列をし、傘を携えての行列となりました。

大仏殿内では出仕僧は大仏様の台座に上がり、屋外で行う予定の法要を大仏殿内部に置き換えて、西大寺大茶盛による献茶や、献花。越前米の奉納なども取り入れた法要を行いました。実施までのリハーサルなどは無く、初対面の者が集まっの行き成りの本番ですが、出仕僧が混乱することなく予定通りの内容を消化して法要は無事終了しました。

企画した側とすれば、秋晴れの空の下、多くの参拝者の目前で舞い散る色とりどりの散華と、朗々と轟く700名の出仕僧の声・・・と華やかな法要を思い描いていた訳ですが、雨で大仏殿内の法要では外からその様子は見ることは出来ません。残念なことです。しかし、出仕僧の大半の方は、東大寺の・・・しかも手を伸ばせば大仏様と言



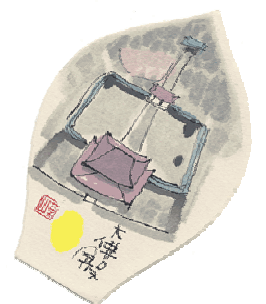
傘をさしての行列となりました。中には青年僧以外の方もチラホラ



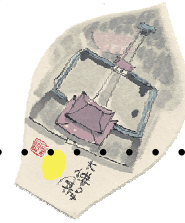
長い長い行列になりました。最後尾が入堂を終えるまで10分以上掛かったと思います。



西大寺大茶盛による献茶。さすがに大きい



(2 ページに続く)



(1 ページから続く)

う位置で、法要に参加できたことに満足された方が多かったようです。(これは雨のお蔭ですね・・・)

今回の千僧法要の最大の目的は、1250年間この世を見守り続けてこられた大仏様に、「この国の行く末穏やかならん事を・・・」祈り、また、「我々青年僧は何をなすべきか?」と言うことを大仏様に問うことでした。

出仕僧全員は雨で濡れ重くなった法衣のことなど少しも気にせず、一心に大仏様の仏徳を称えて頂きました。きっと、我々の祈りは大仏様に届いたことでしょう。

また、日本全国から宗派の違いを越えて無報酬で参集して頂きました出仕僧の皆さんは、数多くの青年僧の仲間が宗派外にも沢山いると言うことを実感して頂いたと思います。

千僧法要に参加した青年僧の胸には色々の思いがあったかと思いますが、自坊に帰られた後、その時の思いを少しでも世の中の役に立ててもらえれば、千僧法要は成功したのではないかと考えています。また、今回、役柄とはいえ縁有って千僧法要の企画に加わらせて頂きましたこと、振り返って見れば自ら望んでも一生関わることが出来ない一大事業でありました。私も一参加者として千僧法要で受けた思いを今後の活動に役立てて行きたいと思ひます。

『四季風華図』完成



本堂脇の部屋(中の間)の襖に襖絵を描いて頂きました。「自由に思うように描いてください。」とお願いをしたら本当に少し風変わった襖絵が納まりました。最初は違和感を覚えていたのですが、仏教系の新聞である中外日報では「新境地を開く襖絵」と高く評価して頂き、この記事を見たたんに見る目が変わりました・・・これで、奥の間の襖絵(玉体杉・迎接の藤)と共に法雲寺名物が一つ増えました。最近、「襖絵を見せてください」とこられる方が増えましたので、この一風変わった襖絵も楽しんで頂けるのではないかと考えています。

尚、この襖絵の整作に関しまして芦屋市の今後利秋様・前住職始め幾人かの皆さんにご協力を頂きました。この場をお借りいたしまして重ねて御礼申し上げます。

ボーイスカウト共同募金に協力

ボーイスカウト村岡1団(ボーイスカウト天台6団・団委員長:上田優氏)が10月27日活動の一環として「赤い羽根共同募金」に協力



いたしました。スカウト達は普段、小学校などで「募金する側」になったことはあっても、「募金をお願いする側」になったのは初めてのことです。最初は「どうしていいのかわからない?」のと「恥ずかしい」ことが相まって募金をお願いする声も力なかったのですが、一生懸命をお願いをしているうちに協力者も増え、「お願いの声」にも力が入りました。

特別寄進のご報告

H14/4~

ご協力深く感謝いたします。

編集後記
この半年「東大寺千僧法要」のことが頭から離れませんでした。参加者には充分に集まるかどうか?次第のことだろ?文句が出ないだろうか?次々と心配は次から次へと出てきました。結局は雨による会場変更は雨による法要に出来ませんでした。参加者の方々の顔を見れば雨に打たれた姿も大仏殿から出た雨に濡れていました。雨は満足していただいた方々には満足していただくことお詫言います。寺報の間隔が空きました。